

議会だより

# しょうわ

2013.1.22

No. **156**

山梨県昭和町議会ホームページ  
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



特集

## 昭和町の未来を考える!

2

一般質問 ここが聞きたい

6

第6回 区長と議員の座談会

### 多事争論

15

地域住民と議員の対話集会

### 井戸端会議

16

### 新春奉納子ども太鼓

—西条二区地内—

(撮影：河西秀吏)

# 来を考える！

## とのワークショップ

### 総務常任委員会

#### 学生の提案

討議型世論調査と住民投票の連結制度の導入を

賛否の分かれる特定のテーマについて住民投票をする場合には住民間の徹底的討議が必要である。

自治基本条例の制定を

昭和町には議会基本条例があるが自治基本条例を制定することで重要な部分がより明確になる。また、ツイッターやフェイスブックを使って若い世代に発信したらどうか。青少年とネットの関連

ネットいじめにどう向き合い対策を講じるか。改善策はあるか。



#### 議員の意見

常設型住民投票条例制定が前提だが民意を直接反映する二代表制の下、討議参加者の選出等課題も多い。

自治基本条例の制定は今後検討課題としたい。議会活動等をツイッターやフェイスブックの活用を前向きに検討したい。

いじめは古くて新しい問題。社会全体で考えなければならない。

### 産業土木常任委員会

#### 学生の提案

リアモーターカーと昭和町の未来は

リア新幹線が完成するまでには多くの課題がある。他市町村と提携し地域福祉のコーディネーターを設けたり、若者を中心に就労対象となる企業誘致を促進する必要がある。昭和町の未来のために今やるべきことは。

リアモーターカーと地域活性

提案 リニア駅周辺に「山梨情報会館」を設立。

提案 リニア駅付近に「有料大型駐車場」を設立。

提案 リニア駅から出発するバスツアーを企画。

昭和町におけるコミュニティーバス開設を

常永駅を経由したコミュニティーバスを運行できるように環境整備を。



#### 議員の意見

リア駅の開設で、まちづくりやアクセス道路、交通機関・観光・都市機能など多くの問題が発生するが、県内や他県の状況を調査しながら、人口増加や将来像に対処する必要がある。



# 昭和町の未来

## 第5回 学生と議員



### ワークショップとは？

講師の意見を一方的に聞いたり、教材を読むだけでなく、参加者全員が講師の助言を得ながら積極的にかわり、問題解決のために行う研修会。

平成24年12月20日、山梨学院大学との連携による研修の一環として、学生と議員によるワークショップを開催しました。各案件ごとに総務・産業土木・教育厚生との3常任委員会に分かれ、ゼミグループによる提案発表が行われました。

## 教育厚生常任委員会

### 学生の提案

模擬投票・模擬議会を

政治への関心が低下している。小中学生を対象に、模擬投票や模擬議会を行い、政治への関心を高め仕組みを理解してもらい、地方自治の成り立ちに興味を持つことが重要では。

認定こども園と昭和町の未来は

保護者の就労形態に左右されず、「教育・保育機能」と「子育て支援」の充実を図るためには認定こども園の開設が必要では。

東日本大震災の支援を通して

生涯学習・平和教育の推進を

東日本大震災で被災した、震災孤児等を支援するため、町の施設を使ったチャリティーバザーを開いたらどうか。

### 議員の意見

衆議院選の町の投票率は県平均以下だった。学生や若い方々が政治に関心を持てるよう、調査・研究していきたい。

町には公立の保育園・幼稚園はないが、私立保育園等の園長会議で園の考えを聞いていきたい。

震災直後に町のイベントで支援バザー等を行ってきた。今後も関係団体に呼び掛けていきたい。



# 平成24年度一般会計補正予算

## 自立支援・子育て支援医療費等を増額

※全員賛成で可決

### 12月議会で 決まったこと

平成24年12月定例会は、12月11日から14日まで4日間の会期で開かれました。今議会は町長から平成24年度一般会計および特別会計補正予算5件のほか、条例制定3件、条例改正4件、専決処分の承認1件の合計14件が提出され、原案のとおり承認、可決しました。このほか議員提出議案3件を承認しました。

一般質問では8人の議員が立ち、町政の諸課題について幅広く質問を展開し、町の考えをたえました。

#### 一般会計補正予算（第4号）

補正額 1億7,283万円  
予算総額 71億6,100万円

##### おもな補正財源

- ・法人町民税 1億5,000万円
- ・固定資産税 5,439万円
- ・県支出金 1,468万円

##### おもな使いみち

- ・自立支援給付費 2,300万円
- ・子育て支援医療費 460万円
- ・ひとり親家庭医療費 300万円
- ・太陽光発電補助金 150万円

#### 特別会計補正予算

国民健康保険会計	104万円増	総額17億6,946万円
介護保険会計	2,312万円増	総額7億2,731万円
介護サービス会計	39万円減	総額1,391万円
下水道事業会計	3,408万円減	総額10億5,773万円
湯水対策事業会計	123万円増	総額635万円

#### 専決処分

- ・平成24年度一般会計補正予算（第3号）  
衆議院議員選挙に伴う補正  
全員賛成で可決

#### 条例改正

- ・町営住宅設置管理条例
- ・下水道条例
- ・都市公園条例
- ・使用料徴収条例
- ・老人福祉センター内の「いきいきの湯」閉館時間を午後3時から4時に変更。  
全員賛成で可決

#### 条例制定

- ・高齢者・障害者等の移動の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例
- ・町道に設ける道路標識の寸法に関する条例
- ・町道の構造の技術的基準に関する条例  
全員賛成で可決

#### 議員提出議案

- ・議会基本条例
- ・議会委員会条例
- ・議会政務調査費の交付に関する条例
- ・それぞれ条文内の「政務調査費」を「政務活動費」に名称変更。ほか使いみちの変更。  
全員賛成で承認。

## 「教育厚生常任委員会」

### 交流センターの音響改善を

樋口議員 地域交流センターの利用者から音響が悪いと聞いたが。  
教育長 既存のものは悪いが、音楽発表会などはリースで借りて開催していると聞く。国民文化祭開催もあるので、検討したい。

### 食物アレルギーの対応は

深澤(克)議員 食物アレルギー対応のマニュアルを作成したが、作成の経緯と経過を教えてください。  
学校教育課長 学校、教委、給食センターにより作成委員会を設け、食物アレルギーをはじめとする各種アレルギー疾患に対する組織的な体制を整えるため、教育指導監が中心的な役割を担い、それぞれの役目やルールを明文化したものです。

### 中学生まで医療費無料化を

河住議員 町長の政策の中にあると思うが、中学生までの医療費を無料化していないのは、近隣で昭和町だけなので検討されたい。町長 今後検討したい。

## 「産業土木常任委員会」

### 公園の改修はしないのか

林議員 特定公園施設設置の基準に関する条例制定を予定しているが、その中では、既存の公園の改修を考えていないのか。  
都市整備課長 近隣市にも聞いたが何もしないとのことであり、町としては今のところ特に考えてはいない。

### 通学路の駐車車両に注意を

塚原議員 常永区画整理地内で、マンション建設しているところがあるが、通学路となっている歩道に車が止まっているので、児童・生徒が車道に出ているので業者を注意してほしい。  
建設課長 担当課である企画財政課より注意していただく。



## 「総務常任委員会」

### 福祉避難施設が足りない！

河住議員 地域防災計画の中で、福祉避難施設が総合会館だけでは足りないのでは。  
企画財政課長 防災計画の中に「福祉施設等に受け入れを要請する」ことを付託し、対応する。

長谷川議員 役場庁舎に夜間受付用ボックスを設置してほしいとの意見を聞いたが、可能か。  
総務課長 研究して対応したい。

### ツイッター情報をタイムリーに

中澤議員 町でツイッターを開設しているが、情報をタイムリーに流してほしい。  
企画財政課長 情報があれば載せるように各課に依頼したい。



議論が飛び交う委員会

# ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

## Q イオンモール昭和の増床計画は

### A 増床後の雇用を期待



かわすみ やすしげ 河住 保茂 議員

## 一般質問

**河住** オープンから県内随一の集客力を誇る、イオンモール昭和の今後の対応を伺う。

**町長**

イオンモールは店舗面積を2万㎡増床、本来計画の4万8千㎡としているが、県や地域と十分に協議を行うため、計画を延期している。現在2千人の雇用があり、増床後はさらに1、2000人の雇用が期待できる。交通渋滞は周辺道路を組合で、主要幹線道路への接続は県・

町で整備し、路線バス乗り入れやパーク&バスライドの運行など、イオンモールと関係機関との協議で、良い結果が得られるよう願っている。

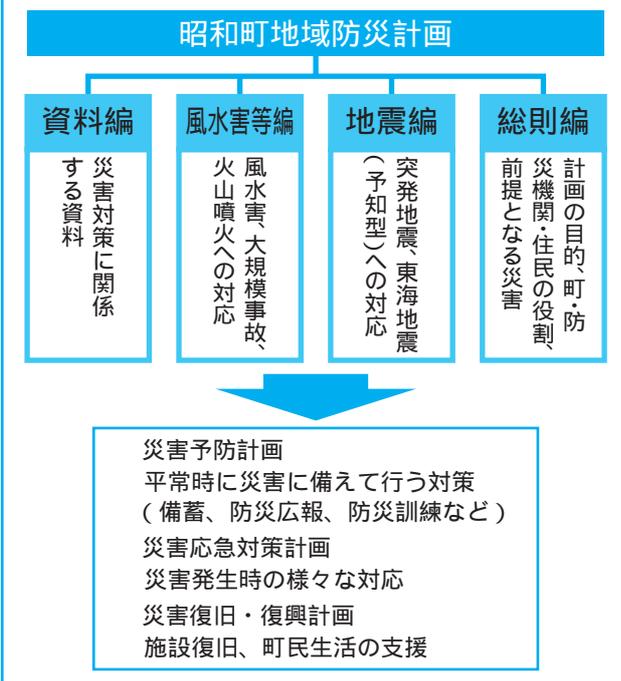
### Q 防災計画見直しと減災力向上は

### A 自主防災会の充実強化も必要

**河住**

減災の取り組みは、希薄化が進む地域コミュニティの再生を促す。住民主体の「減災力向上への

地域防災計画の構成  
昭和町の地域防災計画の構成は災害の事象別に次のように構成されています。



**パーク&バスライドとは？**  
自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道等の公共交通機関を利用して目的地に向かうシステム

自主防災会の充実強化も必要で、地区会議や各組の会議で、防災・減災の話し合いや研修を自主的に行っており、町は研修会の資料提供や貸し出しを行っている。今後、中北地域県民センターと共催で、防災研修会に参加するよう、自主防災会の中心である区長会でお願いをしていきたい。

**町長**

「仕組みづくり」を行政が支援し、強いまちづくりが必要だ。当局の考えを聞きたい。  
町は専門知識を持ったコンサルタントと契約し、地域防災計画の見直しを行っており、庁舎内の検討会議で修正を繰り返し、素案と概要版を作成した。職員防災マニュアルも防災訓練に基づき、防災計画と合わせて見直し作業を進めている。

# 施策を問う

## 一般質問



いしはら たかあき  
石原 高明 議員

### Q 地震災害時の

### 下水道機能維持は

### A 総合的に

### 災害対策を強化

#### 石原

市街化区域の下水道は8割を超える整備

状況で、町のイメージアップに貢献しているが、地震災害で下水道が機能不全になると影響は供用区域全域に広がる。地震災害時の下水道機能維持や、災害対策に対する当局の考えは、

#### 町長

新基準以前の重要な管路については良質な埋戻し材料を使用し、振動

や液状化に対する対応を行っている。被災時は影響を最小限に抑制し、速やかな復旧を可能にするため、下水道地震災害行動マニュアルを定めている。

大規模地震に備え、重要な管路の耐震化について再認識する必要がある、「下水道総合地震対策計画」を策定し、財政状況を勘案し総合的な災害対策を強化していく。

#### 再質問

#### 石原

平成26年に下水道事業の全体計画の見直しを予定しているが、下水道総合地震対策計画との関連および計画の内容は、

#### 下水道課長

基本計画の計画区域、計画人口の推定、計画汚水量、雨水計画等の見直しを踏まえ、重要な下水道

施設の耐震化を図る「防災」と被害を想定して被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を平成27年に策定予定。

#### Q 単独・合併処理浄化槽の指導は

#### A 業者の協力や法定検査の受検を促す

#### 石原

単独・合併処理浄化槽の実態をどう把握し、維持管理の指導を行っているのか。また、今後の取り組みは、

#### 町長

町では、山梨県から浄化槽管理台帳の名簿提供を受け、浄化槽の把握をしている。また、維持管理の指導等は、県が指定した山梨県浄化槽協会が行っている。今後、下水道供用開始区域における単独浄化槽の多くが未接続であり、早期接続を指導

する。

#### 環境経済課長

浄化槽の保守点検や法定検査等維持管理を怠ると、

正常に機能せず、放流水の水质の悪化や、悪臭が発生する原因となるため、広報しうわで浄化槽の維持管理を呼びかけている。地域から悪臭等の苦情があった場合、町が現地調査・指導を行い、甚だしいものについては県の指導を仰いでいる。



液状化の例 新潟県小千谷市HP掲載



ふかさわ かつお 深澤 克男 議員

## Q 副町長の登用は

## A 前向きに検討する

**深澤** 昭和町は市なみの現状の組織体制では町長は多忙を極め、町民対話や政策論議に時間を割けなくなる。早期に副町長の登用を考え、新しい政策課題への対応や、町民サービスの向上に努め、町の更なる発展を目指すべきだが、町長の考えを聞きたい。



活発な食育活動で健康でいきいきと

## 町長

新たな問題を解決しながら、先人が築き上げてきた輝かしい昭和町を、しっかりと後世に引き継いでいくためには、補佐役となる人材の登用を考える時期にきた。私が進める「健康寿命の延伸」や「ボランティアなどの町民活動促進のための体制強化」、市街化調整区域の開発やリニア駅を見据えた「商業ベースによる交流人口の増加と回遊策」等、地域活性化の実現のために副町長の登用を前向きに検討したい。

## Q 高齢者福祉と管理栄養士の関わりは

## A 職務内容の検討や環境整備を図る

**深澤** 平成25年度より昭和町食育推進計画が推進されるが、管理栄養士が担う業務量は格段に増加する。高齢者福祉施策と管理栄養士のかかわり方、配置をどのように計画していくのか。

## 町長

全12地区で20年度から、はつらつ栄養教室を展開し、二次予防事業として口腔機能向上と食事指導もを行っている。食育の推進や個々の生活に踏み込んだ支援が課題であり、保健師と協働できる専門職としての管理栄養士の確保は重要で、定数問題と有効的な活用を図るため、職務内容の検討や配置に向け、環境整備と有能な人材確保に努めていきたい。

# Q 高齢者に備蓄食の無償配布を

## A 町の防災倉庫で一括管理する



はやし かずひと  
林 和仁 議員

### 林

阪神淡路大地震や新潟中越地震では、災害が発生した直後の交通遮断で、食料や飲料水の確保が困難な状況となった。町では「これからの高齢者福祉の在り方」をテーマに、各地区別に協働政策評価意見交換会を行い、事業仕分けの中で規模の縮小や終了した事業の廃止など、行政に反映し、推進していくとしている。

町の75歳以上の高齢者人口は1,391人だが、一人暮らし、高齢者のみの世帯に、非常時の備蓄食（1日分）のアルファ米<sup>(注)</sup>と、飲料水の無償配布をする考えはないか。当局の考えを聞きたい。

### 町長

大地震等の災害発生時、家屋の全壊・半壊等の被害にあわれた方々は、避難所での生活を余儀なくされる。町では防災倉庫に備蓄品や、耐震型の貯水槽を整備し、災害に備えている。

昭和町には幸いに山もなく、土砂崩れによる孤立地域の発

生は考えられないので、災害発生後に備蓄品を配布することができ。高齢者世帯に事前に備蓄食を配布すると、毎年増減する高齢者世帯への配布と、賞味期限の管理などが煩雑になるため、町の防災倉庫で一括管理することが望ましいと考えている。



押原公園に備蓄されている食料等

### 再質問

### 林

町内の最終避難所にはアルファ米6,000食が保管してあるが、どのような方法で町民に配布するのか。

### 町長

役場担当課、自主防災会やボランティアの方々にお願ひし配布したい。

### 再々質問

### 林

建物は崩壊、道路は寸断され、避難所に行くことのできない高齢者の対応は。

### 町長

近隣の方や自主防災会に安否確認していただき、避難所への移動の手助けをお願いしたい。

### アルファ米とは

一度炊いたご飯を乾燥させたお米。長期間の保存が可能で、お湯か水を注ぐだけで食べられる。非常用保存食やレジャー用食品などとして使われている。



三井 猛 議員

## Q 地区公会堂の耐震診断補助を

## A 耐震改修工事費の3分の2補助

**新耐震基準とは**  
建築基準法 建築物の敷地・設備・構造・用途についてその最低基準を定めた法律に定められる設計基準の一つで、昭和56年に施行された。

**三井** 災害時には、各地区公会堂に自主防災本部が設置される。安否確認や救出・救護などを把握するための情報拠点である。新耐震基準（以前の建物があり、耐震診断に補助を行う必要がある。町の考えは。

### 町長

各地区公会堂は、地域防災計画で自主防災本部に位置付けられている。12地区に17の公会堂があり、耐震性の不明のものは西条一区・西条二区第一公会堂・押越区・築地新居区の4つとなっている。現在、公会堂等の耐震診断助成制度はないが、区の予算で行う耐震診断の結果に基づき耐震改修工事の際、公会堂建設等事業助成金交付要綱で、工事費の3分の2を助成している。

### Q 中央公民館耐震改修計画と社会教育系施設整備は

### A 建て替えを早く実現したい

**三井** 中央公民館は昭和46年に建設され、その後一部増築し、現在の建物になった。耐震及び中央公民館の立て替えも視野に入れ、社会教育系の施設整備にどのような構想や計画を持っているのか町の考えは。

### 教育長

建築後42年が経過している。中央公民館の建て替えは総合計画の主要事業に位置づけられ、生涯学習拠点となる施設の整備が計画されているので、現時点では耐震診断・耐震改修計画は考えていない。

### 町長

公民館を建て替える際には、個人的な考えとすれば、図書館機能や文化講演会などが開催できる集会場を備え、文化活動や生涯学習の推進が図れる施設の建設が望ましいと考えている。町民の皆さまの意見を十分に反映するため、関係者を集め、建設委員会等を設置し建設を目指していきたい。



安心・安全な公共施設を

# Q 待機児童等の対策は万全か

## A 保育園への指導徹底に努める



かわだ 河田あけみ 議員

### 河田

本町では、転入者増加と共に小学生以下の児童が増加傾向にある。

今年度は町内の7保育園の定員（590人）に対し、120%の入所率である。町外の保育園にも入所をお願いしているが、最近広域の保育園では入所を断られるケースもある。

そこで今後の問題点について問う。

保育園の待機児童を作らなため、どのような方策を考えているのか。

小学校の教室不足は生じないか。

児童保育の定員は不足しないか。

### 町長

町内の人口は増加傾向で、未就学・就

児童館の増築で常永・西条児童館は69人とし、入級希望児童数の増加に伴う超過対策をした。押原児童館・児童センターは定数内で運営している。

学児童数も毎年約200人で推移している。説明会で入園希望状況を調べ、各保育園で定数見直しが可能か、広域保育園への指導を図り、待機未就学児が生じないように努めていきたい。

常永児童館は児童数の増加が見込まれ、内規の見直しが可能か検討していきたい。

町内保育園園児数（私立）

平成24年11月現在

名称	定員	園児数		計	収容率
		3歳未満	3歳以上		
昭和保育園	120	62	83	145	120.8%
押原保育園	120	65	79	144	120.0%
常永保育園	60	19	52	71	118.3%
上河東保育園	60	60	0	60	100.0%
第2上河東保育園	60	0	73	73	121.7%
富士桜保育園	110	52	73	125	113.6%
げんき夢保育園	60	46	48	94	156.7%
合計	590	304	408	712	120.7%

どの保育園も収容率100%以上

### 教育長

県の少人数学級への対応を視野に入れても、小学校において教室不足を生じることが現在のところはないと考えている。

西条小・常永小は6教室が普通教室に転用可能である。平成25年度は、常永小で新1年生が1クラス増になる見込みだが、ここ数年は現状で対応できる。

### 再質問

### 河田

今年度は、広域の保育園を利用している園の数と園児の人数はどれくらいか。

### 福祉課長

44施設、85人の登録がある。

### 再質問

### 河田

各学校ともオープン教室を全て使った場合、授業中の声など支障をきたすことはないか。

### 教育長

遮音することは可能だが、現場の意見を聞き対応したい。

## Q 押原公園の管理と運営は

### A サッカー協会と利用者確保に努める



たなか ひろよし 議員  
田中 博愛

**田中** 押原公園は県下に誇る恵まれた公園だが、災害等の緊急時には防災公園としても利用されている。押原公園を整備した2008年に、サッカー協会と契約し現在に至っているが、ヴァンフォーレ甲府が拠点を韮崎市に移した場合、契約の解除等が懸念される。今後の管理・運営をどう考えているのか。



多種多様な利用でより良くしていこう 押原公園

#### 町長

押原公園は県サッカー協会を指定管理者として、25年まで管理委託契約を結んでいるが、ヴァンフォーレ甲府との25年4月以降の使用契約については、まだはっきり示されていない。韮崎市での使用希望日数は年間160日で、残りの活動は今まで通り押原公園・医大グラウンドの使用と思われる。今後は、町でも指定管理者のサッカー協会とともに、イベントの誘致や新しい利用者の確保に努めていきたい。

#### Q 釜無公園駐車場用地拡張は

#### A 関係機関と協議

**田中** 釜無公園は遠方から来る方が多いため、駐車場の台数に制限があり、周辺道路に駐車している現状だ。駐車場確保・拡張を考えると、

はないか何う。

#### 町長

釜無公園の敷地内の駐車場は狭く34台程度のなので、公園北側の緑地帯の樹木の間、駐車スペースを確保できるよう、関係機関と協議を進めていきたい。大きな大会での駐車場確保は十分なので、押原公園での振り替え開催や、公園への乗り合わせでの来場の徹底を要請したいと考えている。

# Q 小中学校学習費の負担軽減を

## A 他市町村より教育予算は充実



ふかさわ へいすけ  
深澤 平助 議員

### 深澤

23年度の各学校の教育振興費の中で、子どもの学習費に充てられている需用費は、小学校で一人当たり平均が22、350円、中学校で24、870円。

自治体の中には、生活保護法の対象である要保護児童、準要保護児童に対する就学援助

助の認定基準や、支給単価の切り下げを行うところも出てきているが、町はどのように考えているのか。また、家庭の負担になっている費用は、国や自治体による負担にするべきと考えるが、この点についても当局の考えを問う。

### 町長

公立小中学校の管理運営予算は、国・県・

市町村と保護者の負担金で成り立っているが、学校施設の充実、保護者負担の軽減、さらに昭和 교육推進のため、町単独の教員配置など、他市町村と比較しても見劣りしない教育施策を充実し、継続発展に努めていきたい。

### 教育長

町では就学援助費支給要綱を定め、



家庭にやさしい教育支援を

従前の基準に基づき、近隣市と同じ認定基準や援助費を支給しており、引き続き支援していきたい。

各家庭の負担額としては、修学旅行等の積立金や宿泊スキー教室積立金等が内容ですが、保護者負担の軽減施策として、さまざまな取り組みを行い、給食費の一部負担や3人目以降の給食費の無料化や、教材費はできるだけ公費で負担するなど、教育予算は充実していると考えており、各家庭での負担額はご理解いただきたい。

### 再質問

### 深澤

24年8月に強行される「社会保障制度改革推進法」に基づいて、今後生活保護の抑制策が強められ、そのことによつて就学援助の特定基準や、支給単価への影響が危惧されるが、

### 教育長

国の動向をみると、財政的に厳しくなることが考えられるが、教育支援はできるだけ継続していきたい。

# 議長の 年頭あいさつ



昭和町議会議長

萩原 馨

昨年を振り返りますと国政では11月に解散、12月16日投票と慌ただしい年末でありましたが選挙結果は自民党大勝、民主党大敗の国民審判が下りました。安倍政権の下、経済振興策により景気回復を期待するところであります。

さて、本町議会では議会改革の一環として始めた山梨学院大学との提携も今年6年目となります。「学ぶ議会」「行動する議会」「改革・変革する議会」に本年は「町民と共に歩む議会」を加え、4本柱で足腰の強い議会にチャレンジしていきます。

また、3・11の災害を教訓に、議会としても町民の「安心・安全」を考慮し、自助・共助・公助を視野に入れての議会活動と、今までの議会改革の中で良非判断をし、昭和町スタイルの議会活動を進めていきます。町民の皆さまには議会活動に対し、ご理解とご協力をお願いしあいさついたします。



今年もよろしく  
お願いいたします

昭和町議会議員

中澤 康夫  
石原 高明  
林 和仁  
深澤 克男  
野中 敏美  
河住 保茂  
福島 正明  
樋口 敏夫  
塚原 将司  
田中 博愛  
遠藤 辰男  
三井 猛  
長谷川 幸廣  
河田 あけみ  
萩原 馨  
深澤 平助

## 多事争論

平成24年11月13日(火)、住民の先頭に立って活躍されている区長さんと意見交換会を開催しました。区長の皆さまからいただいたご意見をしっかり受け止め、議会活動に反映させていきたいと思ひます。  
(要旨のみ掲載)

### 参加者

(敬称略)

西条一区 田中憲治(会長)  
西条二区 依田茂巳  
清水新居 保坂哲彌  
西条新田 塩田堯憲  
押越山田昇  
河東中島 柳澤保

紙漣阿原武井啓吉  
築地新居坂本久(副会長)  
飯喰磯部洋  
河西秋山正巳  
上河東杉原喜彦(副会長)  
上河東二区石川重明

以上12区長・ほか町議会議員

### 意見交換の場

議員と区長との意見交換会が11月13日、午後4時20分より開催されました。司会の田中区長会長のあいさつ、そして萩原議長のあいさつのもと、座長に萩原議長を選出し議事に入りました。

区長さんからは、井戸端会議がマンネリ化しているように思う。もう少し内容の充実に図ってほしい。意見・要望に対する回答が抽象的である。また、委員会ごとを実施するのではなく、各委員会の委員長さんに出席していただき、より専門性を持った会議にしたほうが良いのではないかと5年ほど経過したので少し休んでもいい。などの意見が出ました。

### 井戸端会議の改革を

区長さんからは、井戸端会議がマンネリ化しているように思う。もう少し内容の充実に図ってほしい。意見・要望に対する回答が抽象的である。また、委員会ごとを実施するのではなく、各委員会の委員長さんに出席していただき、より専門性を持った会議にしたほうが良いのではないかと5年ほど経過したので少し休んでもいい。などの意見が出ました。

### 情報は議員と共有する

区長さんからは、新しく入ってきた区民にも出席してもらっている。こういった人たちの意見も聞いてもらえるので、このまま続けてほしい。困っていることや要望が多いが、このまま継続していきたくない。などの意見が出ました。

井戸端会議についての意見が多かったですが、区のことには私たちが一生懸命する。議員は町のことをしっかりやってもらいたい。との意見もあり、最後に区長会長さんからの研修に行った報告があり、減量化に対する取り組みや数値目標、課題等について議員にも情報を共有してほしいとの要望もありました。

### 議会活動に生かしていく

これらに対し、議員からは井戸端会議では多様な意見が出てくる。我々も専門知識を持っていない面もあるが、伺った意見を一般質問で取り上げることもある。また、回答についてははっきりと書けないこともある。

マンネリ化しているとの意見だが、本来は意見交換の場

であるので、ざつくばらんに何でも思っていることを話し合うことが大事だと思う。今は区側にすべてお願いしているが、議会側でチラシなど配布しなければいけないとも思う。などの意見が出されました。

短い時間ではありましたが、有意義なうちに意見交換会が終了しました。議会としては

今回出された意見を十分受け止め、今後の議会活動に生かし、井戸端会議も内容の充実した会議にしていきたいと思ひます。



## 地域住民と議員の対話集会

# 井戸端会議



### 次の開催予定

- 1月29日(火) 清水新居区
- 2月18日(月) 河東中島区
- 2月28日(木) 飯喰区

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

## 紙漉阿原区(第6回)

10月28日 紙漉阿原区公会堂

出席者 区民 29人  
参加議員 産業土木常任委員会  
田中博愛 中澤康夫  
遠藤辰男 福島正明

林 和仁  
萩原 馨議長

### おもな意見・要望と議会の対応

Q 今川沿いに芝桜を植え、景観づくりをしたいが、岩石があり植栽できない。長さ300m、幅員70cm、片側だけ整備してほしい。  
A 区民の皆さまが地域の景観保全に関心も高く、大切に守る姿勢に敬意を表したい。議会としても、できる限りの対応をしたい。

Q 阿原の身延線踏切から西の道路整備が進まない状況だ。今後の予定は、新設道路からスムーズな通行ができるよう改善してほしい。  
A 24年度予算で、本道から踏切までの整備を実施する。身延線の東から今川橋梁までの間で、延長は状況を見ての対応となる。

Q 河東中島区から中央市(旧玉



景観づくりをしたい!

穂町)沿いの紙漉阿原に及ぶ道路は、利便性がよく交通量も増大している。コンクリートで幅員を拡張し、危険を少なくできると思う。  
また、今川橋は改良の必要がある。  
A 議会として現地を調査し、意に沿うよう考えていきたい。  
A (当局) 改修優先上位に位置づけ、拡幅していきたい。一部の反対者がいるので、区に対応をお願いしたい。

# 西条新田区(第7回)

10月30日 西条新田区公会堂

出席者 区民 8人  
参加議員 総務常任委員会

三井 猛 長谷川幸廣  
塚原將司 野中敏美  
萩原 馨議長  
地元議員 福島正明

## おもな意見・要望と議会の対応

Q 分譲地内で子どもの遊びのトラブルが発生している。子ども広場を町で借りてもらえないか。公会堂の駐車場もいつかは返さなければならぬ。公園数は町内でも一番多いが、小規模で面積は狭い。なんとかならないか。

A 町に話をしていているが、少し待ってもらいたいとのこと。区で目星をつけ内々に地権者の了承を得て、子ども広場の土地借用の要望書を出したらどうか。議会として区を全面的に支援する。

Q 高齢者の外出支援サービスに福祉バスが巡回しているが、新田区内に入っていない。細長い区なので小型ワゴン車で2力所くらい停まってもらいたい。

A 毎回要望が出ているが、他の



バスの停留所を増やせないか？

区からも停留所を増やしてほしい等の要望が出ているワゴン車での送迎は要援護者を優先するため、希望に添えないこともある。

Q 各区で「協働政策評価意見交換会」を実施するが、高齢者福祉に対し、議会は短・中期的なビジョンを持っているのか。

A 今後、財政が厳しくなる。町は無駄をなくし、事業の効率化を図り、子育て支援医療や保育所、学校教育など若い世代の人たちや高齢者が住みやすい環境を整えている。議会も短・中期的な政策提言を行い、井戸端会議等の声を担当課に伝えるなど、政策に反映していきたい。

# 築地新居区(第8回)

11月18日 築地新居区公会堂

出席者 区民 18人  
参加議員 教育厚生常任委員会

河田あけみ 深沢克男  
樋口敏夫  
萩原 馨議長  
野中敏美  
地元議員

## おもな意見・要望と議会の対応

Q 今後、高齢者が増えて負担が大きくなるが、昭和町へ若い人が住みたくなるよう考えては。

A 「みんなのスポーツフェスティバル」や「親子ます釣り大会」は子どもの参加が多い。児童の勉強が快適にできるよう、教室にエアコン設置もしている。

Q 築地新居区公会堂も耐震ではない。個人の家の耐震診断希望を取ったが、公共施設の耐震は優先して実施してほしい。

A かなりの公会堂が建て替えられているが、町の助成金も格段に増額されている。各区は積み立てて替える場合、負担は以前より少なくなっている。



公共施設への耐震は優先してほしい！

Q 地域の拠点である公共物に対する耐震について、議会でも取り上げてほしい。

A 防災拠点であり、安心して使えるようにしていくべきと考えている。平成24年12月定例議会で一般質問(三井議員)しました。

Q 昭和町に、町立の保育園がないのはなぜか。町外から来た人は不思議に思うし、私立だと特色がありすぎて選びづらい。

A 幼児をお寺に頼んで預かってもらった歴史がある。その後、法人化され、現在は7園の私立保育園に、町から施設整備や延長保育・病後児保育等に補助金を出しており、保護者負担が少なく、保育料の軽減につながっている。

# 議会全体視察研修

視察地 京都府久御山町

愛知県大口町

目的 先進事例の調査・研究

日時 24年10月18日(木)～20日(土)

1日目は京都府久世郡久御山町で「職住の町づくり」について説明を受けた後、意見交換を行いました。久御山町は、面積や人口規模、また、昭和47年より普通交付税の不交付団体であることなど、昭和町とよく似ており、住民にメリットのある行政サービスを進め、交通の便の悪い地域に巡回バスを運行したり、「まちの駅・クロスピアくみやま」では、地域の特産物の販売や、地場産業の特徴ある技術の展示などを行っていました。

2日目は愛知県丹羽郡大口町で、「自治基本条例」について条例施行のきっかけや特徴点などの説明を受けました。この基本条例は、平成11年から検討を始め、平成22年4月に完全施行となるまで、行政と住民、議会

が熟慮してきた旨の経過説明がありました。今回の行政視察を、今後の議会活動に生かしたいと思えます。



愛知県大口町役場前にて

## 総務常任委員会

宮城県利府町・松島町・石巻市



親切な対応ありがとうございました

平成24年11月5日～6日、2日間に行われた宮城県利府町と同県松島町、石巻市へ視察研修を行いました。

東日本大震災の対応とその後について話を聞きました。説明のほか、悲惨な被害状況を見て、震災の恐ろしさを肌で感じた研修となりました。厳しい現状の中も、温かく迎えてくださった利府町議会の皆さま、ありがとうございました。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 産業土木常任委員会

新潟県に企業訪問

平成24年10月11日～12日に2つの企業を視察しました。

1日目は新潟県の榊千手。こちらは機械共同利用のため運営されていた組合を母体として設立され、営農システムや営農方法、経営上の課題などについて説明を受けました。

2日目の榊井関新潟製造所では、歩行・乗用田植機などの農業機械が完成するまでの工程を学びました。町でも農業従事者の高齢化が目立つ中、若年層に



農業機械の原点を視察

も農業に関わる機会と、その背景にある人の温かさを伝えていきたいと感じた研修でした。

# 議会モニター通信 ~12月定例会を傍聴して~



笠島三枝子さん

初めて議会を傍聴しました。条例改正と制定の採決をするところでした。あらためて町政というのは、条例によって動いていることを知りました。町のホームページに掲載されている条例等を読んでみようかと思いました。



植竹 由美さん

女性目線からの質疑応答を興味深く傍聴させていただきました。人口増加に伴い、保育園児の増加は少子化である昨今、喜ばしいことですが、安心して出産育児ができる環境を整え、待機児童がいないような対策ができることを願うばかりです。



中澤 正志さん

一般質問の傍聴に行ってきました。議員の皆さまからは活発な質問がなされていました。今回は議場について要望をします。議場の傍聴席の音響が悪く、質疑応答の言葉が聞き取りにくいことが多々ありましたので、改善をお願いいたします。

## 議会クイズ

正解者の中から抽選で3名の方に図書カードをお送りいたします。

**ヒント** 議会だよりを読んでください

空欄に適切な言葉を入れてください。

155号クイズの答え  
 参集 60 白

- ① 第5回目の開催！ 学生と議員との ショップ!!
- ② 平成24年度一般会計補正予算 予算総額 億6,100万円。
- ③ 議会行政視察！ 府久御山町議会、愛知県大口町議会にて実施。

前回の  
お葉書で こんなご意見をいただきました！

議会の要望、意見

ほぐし安い、安全な町づくり  
 に各議員様のご尽力を  
 お褒め申し上げます。

介護ボランティアに申し込み  
 もい人がいます。ご申し込み  
 かわからないのびしめてほしい  
 ですよ。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。  
 FAXやメールも受け付けます。議会への要望・意見等もありませんら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2  
 昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛  
 FAX:055-275-5250  
 メール:gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

2月末日 消印有効



感想

追跡 ② 下水道使用料の滞納問題  
 向下水道使用料の徴収率アップは  
 答 上下水道料金を一括徴収の方向に……  
 私の地域では約10年前から下水道を利  
 用しその使用料に付いて田和所から直接  
 徴収され、同一の水道使用量か別々の自治  
 体から別々の内付書が発行され別々に  
 徴収されることに付いて違和感がありま  
 したから23年4月から一括徴収されることにな  
 り、照会の上取り直しから解放され徴収  
 率も上がる見込みは万が一です。

いただいたご意見は担当課に伝えました。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む  
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

あれから40年



上河東区  
深沢 至文さん

私は昭和44年から約5年間、甲府市で社宅住まいをしていましたが、手狭なために持ち家が欲しくて探していたところ、住宅供給公社で募集した分譲住宅の抽選に当たり、狂乱物価最中の昭和49年1月、常永団地に転居してきました。

会社から引き渡しを受けた私たち15軒を二組として、一番最初に入居し、上河東区の皆さまのお世話になりながら、まず組長や慶弔等の約束事を決め、組の人たちとの親睦を図りました。

団地としての形態が整うに伴い、生活上の不便さも出てきました。早く電話を入れてもらいたいと電電公社にお願いにいたり、近くにお店（酒屋）がなくて、不便だからと仲間と署名を集め税務署に陳情に行ったり、新興住宅地のため伝統行事というものが無いので、活性化を図るためにお祭りを立ち上げる計画に加わったりしたことが思い出されます。

あれから40年、穏やかで安心して暮らしやすい昭和町で、孫の成長を楽しみながら、ありふれた生活のできることに、感謝しています。

子育てにやさしいまち



西条区  
清水かおりさん

私が昭和町に住むことになったのは、主人の転勤先から山梨に戻る際、昭和町の友人から、子育てするなら昭和町が一番と聞いたことからでした。

私の住んでいる西条一区では、育成会行事など、子どもを中心とした行事が盛んに行われています。育成会役員の時は、地区の子どもたちが喜んで参加してくれる姿から、本当に楽しい行事だと実感しました。

地域の行事をすることで、どこに誰が住んでいるのかも把握でき、大人が地域の子どもを把握していることは、とても重要なことだと思っています。朝の旗振り当番の時、私からあいさつをすることも楽しくなりました。

町や地域が一緒になって、将来を担う子どもたちを守っていきける町に住んでいる私たち家族は、大変恵まれていると思います。これからも町の行事には積極的に参加していきたいと思っています。

子育て世帯に優しい町の施策がいろいろと練られていることも、私たち子育て世代は非常にありがたく思っています。

今後今以上に誰にも優しい施策で、更に住みよい昭和町になることを期待しています。

議会だより県コンクール

最優秀賞

平成24年11月2日、第30回山梨県町村議会広報コンクール表彰式が開催されました。9町村18紙の応募の中から、当議会発行の「議会だより しょうわ 154号」が、レイアウトや読みやすい点、議会活動の内容等、先進的な取り組み方に高い評価をいただき、県最優秀賞に輝きました。今後もさらに追究し、読みやすい広報を作っていきたいと思えます。



お蔭さまで4年連続受賞!!

- |      |       |       |      |       |      |       |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|
| 萩原 馨 | 河住 保茂 | 河田あけみ | 三井 猛 | 深澤 克男 | 林 和仁 | 石原 高明 |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

3月5日（火）開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

（河西・小林）

発行

山梨県昭和町議会  
TEL.055-275-8842(直通)  
TEL.055-275-2111(代)  
T.409-3880  
山梨県中巨摩郡昭和町押越5-2-2 FAX.055-275-5250

